

敦賀市池河内湿原周辺 - 水田・^{しょう}笙の川 -



湿原からの湧水が流れる笙の川



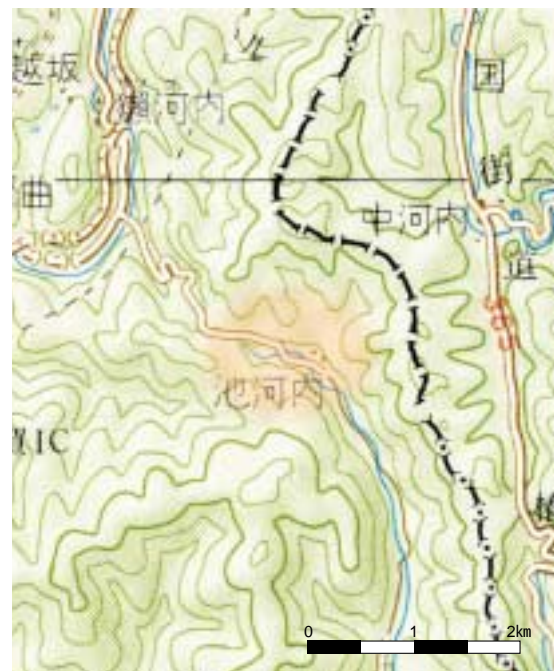
昔ながらの湿田

選定理由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 54種（面積約80ha）

自然の概要	県内最大の湿原である池河内湿原の周辺では、水田や休耕田にヒメビシ、ミズオオバコなどの多様な水生植物が見られます。また、湿原を源流とする笙の川には、清流を好むホトケドジョウが生息する他、コウホネ、フトヒルムシロなどの水生植物も豊富に見られます。
保全すべき主な環境	山田（水田および休耕田） 小川（笙の川）
自然保護関係法の指定	池河内自然環境保全地域、池河内鳥獣保護区（一部）
もっと詳しく知りたい人へ	福井県のすぐれた自然植物編,p109 [池河内湿原の植生] 福井県のすぐれた自然動物編,p438 [敦賀市池河内湿原] みどりデータ・バンク総括報告書,p175 [池ノ河内地区]

該当地の位置



里の生き物紹介 ヒメビシ（ヒシ科）

ヒシによく似ていますが、実が小さく幅は20mm程度で、トゲが4本生えています。また、ヒシは北潟湖や三方湖など大きな湖で大量に見られますが、ヒメビシは県内で知られている自生地が3か所ほどしかありません。県内では水田や浅い池に生育しています。

保全すべき環境に生息・生育している生物



ホトケドジョウ
県域絶滅危惧 類
湧水を水源に持つ細流、水路や池の砂れき底や泥底に生息



ヒメビシ
県域絶滅危惧 類
湖沼、ため池、水路に生育



ミズオオバコ
県域準絶滅危惧
ため池、水路、水田に生育



サシバ
県域準絶滅危惧
森林と農耕地が点在する里山に生息



コウホネ
要注目
湖沼、ため池、河川、水路に生育